

まちあるきを行う

※「P.5 災害図上訓練」と併せて実施するとより効果的です。

実施に向けて	地形状況や危険箇所など、自分たちの地域を知ることが、自主防災活動を考えていく第一歩となります。チェックリストを参考に、実際にまちを歩いて確認してみましょう。また、地域に詳しい人物に参加してもらうことも、地域をより深く知るために有効です。
必要なもの	<p>●まちあるきチェックリスト（“活動のためのツール”に掲載しています）</p> <p>●地域の地図 ●筆記具 ●クリップボード ●カメラ ●メジャー</p> <p>※地図は、下記のサイトを参考にされるか、地域の自治体に相談してみましょう！</p> <p>① 土砂災害ポータルひろしま：<a href="http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/portal/Top.aspx">http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/portal/Top.aspx</a></p> <p>② 洪水ポータルひろしま：<a href="http://www.kouzui.pref.hiroshima.lg.jp/portal/">http://www.kouzui.pref.hiroshima.lg.jp/portal/</a></p> <p>③ 高潮・津波災害ポータルひろしま：<a href="http://www.takashio.pref.hiroshima.lg.jp/portal/top.aspx">http://www.takashio.pref.hiroshima.lg.jp/portal/top.aspx</a></p> <p>④ 国土交通省ハザードマップポータルサイト：<a href="http://disaportal.gsi.go.jp/">http://disaportal.gsi.go.jp/</a></p>
対象者	●自主防災組織の役員 ●地域住民
お問い合わせ	●活動の相談：広島県自主防災アドバイザー制度（消防保安課：082-513-2790）

STEP 1 目的と歩く範囲、時間を決めます

“何を確認し、どこを歩くのか”、チェックリストと地図を参考に、まちあるきの目的と歩く範囲、時間を決めます。地図は地域の情報が詳しく書かれたものが理想です。



STEP 2 チェックリストを参考に現地を歩きます

チェックリストに該当する項目を、歩いて確認していきます。

- ① チェックリストは事前に確認し、まちあるきでの気づきは地図に書き込みましょう
- ② 気になる箇所は写真に収め、撮影ポイントを地図に記入しましょう



STEP 3 まちあるき結果を地図に書き込み話し合いを行います

気になった箇所などを一枚の地図にまとめ、情報を整理します。また、整理した結果を基に話し合いを行い、情報を共有しましょう。

STEP 4 書き込んだ地図を地域に発信します

まちあるき結果を整理した地図は、戸別配布や公民館・集会所に掲示するなど、地域全体で情報を共有しましょう。



活動のポイント

- 中山間地では“災害時に孤立しそうな集落や避難所までの距離”、市街地では“住宅密集地における被害や避難方法”なども、確認のポイントになります。
- まちあるきによるチェック結果をまとめた地図は、「防災マップ」として地域へ発信しましょう。地域全体で情報を共有することで、防災対策が立てやすくなります。
- 危険箇所だけでなく、地域の備蓄品などのチェックも行ってみましょう。“活動のためのツール”に、「防災資機材チェックリスト」を掲載しています。

まちあるきの活動事例

実施地域	三次市 酒屋自主防災会		
実施日	平成 25 年 10 月 6 日		
参加者	自主防災会役員・地域住民・少年消防クラブ 合計 30 名 ⇒4班で実施		
準備品	<p>[自主防災組織で準備したもの]</p> <p>個人配布：●まちあるき用地図 ●チェックリスト ●クリップボード ●注意事項</p> <p>班別配布：●とりまとめ用地図 ●カラーマジック ●メジャー ●カメラ</p> <p>[参加者に持ってきてもらったもの] ●飲料水 ●筆記具 ●タオル</p>		

実施内容

時間	実施項目	状況写真
9:00~9:20 (20分)	まちあるきの目的と注意事項の説明 ・参加者の班分け ・まちあるきルートと集合時間の確認	
9:20~12:00 (2.5時間以内)	班別のまちあるき ・チェックリストを基にした危険箇所確認 ・気になる危険箇所をカメラで撮影	
12:00~13:00 (60分)	休憩 ・非常食の試食	
13:00~14:30 (90分)	まちあるき結果の整理 ・とりまとめ用地図へ結果を整理	
14:30~15:00 (30分)	結果発表・意見交換	

参加者の感想

- ・自分の地域を防災という視点から歩くことができ、非常に良かった。
- ・歩いてみて初めて分かる危険箇所があった。
- ・自主防災会へ積極的に参加する気持ちになった（会合で顔見知りの人が増えた）。

活動メモ

【活動で困ること】

- ①参加者が地図を見ることに慣れていない。
- ②グループに分かれると注意する視点がばらばらになる。
- ③まちあるきを実施しても「ただ歩くだけ」になってしまう。

【改善案】

- ①公民館やスーパー、コンビニなど、目印になる建物を事前に地図に記入しておきましょう。
- ②まちあるき前に、気になる箇所の見方や歩くポイントを参加者全員で統一しておきましょう。
- ③昔から住んでいる地域に詳しい人と一緒に歩きましょう。過去に地域で起きた災害が分かります。